

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年11月22日
作成 高齢者支援センター	鶴川第2高齢者支援センター
作成者	具志堅 恵美子

1.開催日時	2023年11月10日	(金)	19:00	～	20:30	
2.会場	オンライン					
3.主催センター	鶴2	・	鶴1	・		
4.参加人数	31					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	7人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	6人	(うち、医師 1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	12人	
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(オブザーバー 1人	傍聴	1人)	
6.開催テーマ	合同地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」に向けて					
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>鶴川地区には災害時の医療拠点が少なく、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備が必要とされるが、各事業所とも体制整備に繋がるBCP策定に現状苦慮している。各事業所においてBCP策定と共に、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。</p>					
8.会議の内容	<p>11月24日に開催予定の圏域合同地域ケア推進会議に向けて最終の打ち合わせを行った。当日講話を頂く村野医師、鯨岡薬剤師、藤井主任介護支援専門員より概要の説明、当日のプログラムの流れ、グループディスカッションの内容、グループの規模、等について確認を行った。</p> <p>村野医師の講話を地域の方々にもぜひ聞いていただきたいとの意見や今後地域住民や学校関係者などに向けても啓発活動をしていく必要性があるのではとの意見が出た。</p>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>2023年11月24日圏域合同地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」を最終決定。村野小児科アレルギー科院長村野浩太郎先生から「災害時医療救護活動(医師会の対応)」、イワナガ大蔵薬局薬剤師鯨岡氏から「薬局のBCP、緊急時対応」、居宅介護支援事業所悠々園藤井大介氏から「介護事業所のBCP」を講義いただく。講義後、グループディスカッションにて「大災害時、私たちができることは？」をテーマに意見交換を行う。</p> <p>11月24日の圏域合同地域ケア推進会議の意見交換から、今後の地域での展開を検討する。</p>					
10.その他						

医療と介護の連携支援センター 確認日

11月 21日